

# 出雲ビル

[登録日]平成 29 年 2 月 3 日

白潟本町 33 番地

正面外観



南面外観



近世からの敷地割の名残のためか、間口が狭く奥行きが長いです。



右から読む「いづビル」、「出雲ビル」の看板が歴史を感じさせます。

◆建築年代：大正 14 年

◆構造：鉄筋コンクリート造地上 4 階建地下 1 階

## ■概要

出雲ビルは、出雲益良氏がイギリス遊学の際にロンドンで見たデパートを松江にも建てたいとの思いから、大正 14 年に「出雲ストア」として建築したものです。

設計者は、「興風会館(千葉県)」や「旧細川侯爵邸(東京都)」などの設計に携わり、全国的にも活躍した建築家の大森茂氏です。

外観は、建築当時のものが多く残っており、外壁はコンクリート研ぎ出しで石材風に加工が施されています。また、壁面のレリーフや縦長の窓、逆読みの表記になっている「出雲ビル」の看板などが相まって、建物の個性を際立たせています。

内部は、階段など改修されている箇所もありますが、丸形の柱や天井の意匠など当初の様子を色濃く残しており、モザイクタイルや石材等を使用し、外観に見合った細工となっています。

松江で最初期の鉄筋コンクリート造建築と考えられ、地域の歴史的景観の核となるとともに、商業のまちとして発展してきた白潟地区の歴史を語る上でも貴重な建物です。

位置

